

みんなで描いたよ大きなハート

草野・飯樋幼稚園 メモリアルアート



Our Heart is One

わたしたちの こころは ひとつ

【特集】 さよなら仮設の園舎・校舎

たくさんの思い出をありがとう



たくさん 思い出を ありがとう

福島市飯野町と川俣町に平成24年度から設置されていた仮設の各施設は、長期化した避難の中、村の子ども達の確かな成長を支えてきました。仮設施設の制約や不自由さはあっても、それすら思い出に変えていく素晴らしい教育・保育活動と、輝き続けた子ども達の笑顔が、ここにありました。

来年度、小学校と中学校は、村内の中学校を改修した校舎で、小中一貫校として再開します。幼稚園とやまゆり保育所も「までのりの里のこども園」となり同じ敷地内で保育をスタートします。2月22日現在の就学・就園希望者は99人。施設の整備も進んでいて、4月1日には、新しい施設で開校・開園の式を行う予定です。



草野・飯樋幼稚園



やまゆり保育所



草野・飯樋・白石小学校



飯舘中学校

いいたて四季彩景 ● 雪原のスタンプ



楽しげな足跡がどこまでも…月夜のランニングを楽しんでいたのは兄弟ウサギでしょうか

CONTENTS 目次

- 3 特集1 仮設の園舎・校舎 思い出をありがとう
- 6 特集2 未来を見つめて みらい議会
- 8 特集3 最終公演 相農飯舘校演劇部
- 10 復興を歩む 農業者等の意見交換会
- 12 特集4 ラオス 東京五輪ホストタウン誘致大作戦！
- 14 職員給与公開
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 20 お知らせ
- 21 入札結果
- 22 ひとかたる ものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのぽけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

アートで復興を支援する「アーツ・フォー・ホープ」の協力で、草野・飯樋幼稚園の園児たちが制作したメモリアルアート。やさしい色合いが素敵です。



● 表紙のおはなし ●



仮設の校舎・園舎で 目覚ましい活躍を続けてきた子ども達
そして それを 全力で支えてくださった教職員の皆さん
通学通園を支え もくもくと協力を続けた保護者の皆さん
温かく見守り 力を貸してくださった地域の皆さん
何度も訪れ 交流してくださった皆さん
物心両面にいただいた たくさんのご支援
本当に ありがとうございます
思い出深く かけがえのない 学校生活・園生活が
ここに 確かに 育まれていました

ありがとう
仮設の校舎・園舎
そして、さようなら

平成24年 幼稚園



たなばた会やおもちつき、季節の行事も続けました

平成25年 小学校



飯野地区に仮設の給食センターを整備しました。温かな給食おいしいね!

川俣町のコスキンパレードでは毎年お世話になりました



平成24年 小学校

プールをお借りし交流もある飯坂小学校の皆さんと、アフリカの太鼓を体験した支援のコンサート



平成25年 小学校

飯野地区の古民家や五大院でも田植え踊りを披露させていただきました



平成25年 中学校

野球選手の川崎宗則さんが来校して開いた「夢教室」。飯野中学校の皆さんにも参加していただきました



平成26年 中学校



天皇后陛下が仮設小学校をご訪問。温かな励ましのお言葉をかけていただきました

平成25年 小学校

仮設サイズの校庭でも、体づくりを頑張りました。運動会も全力で!



平成24年 小学校



平成25年 中学校

秋篠宮ご夫妻は仮設中学校をご訪問。生徒たちに直接お言葉をかけてくださいました



みらい見つめて 小学生議員



▲一般質問の他に、一人ひとりが議長、副議長、記録係など役割をもって議会の運営を行いました

小学生が村へ提案！ みらい議会

2月1日、「みらい議会」が村役場内の議場で行われ、小学6年生が自分達で考えた提案や村行政への質問を議長、副議長、教育長、各課長へ直接投げかけました。

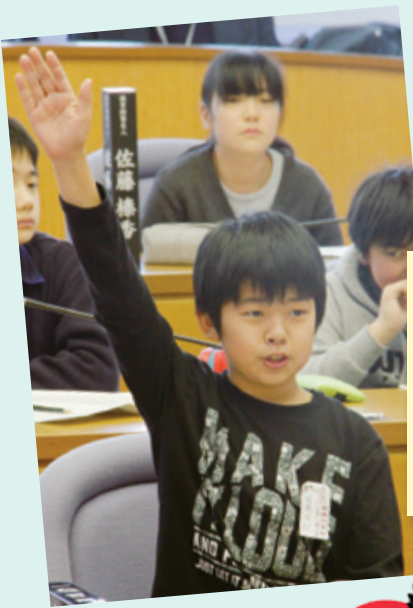
この日参加したのは、草野・飯樋・白石小学校に通う21人の児童。議長役の今野瑞希くん（飯樋小6年）が開会を宣言し、4人の議員による一般質問がスタートしました。

みらい議会では、これまでも村内の自然を生かしたレジャーランドの整備や村を応援してくれる人へ村からプレゼントを送る「ふるさと宅配便」など、子ども達が自由な発想で提案を行ってきました。

昨年夏に誕生した村公式キャラクター「イイタネちゃん」は、平成26年2月に開催されたみらい議会で提案があった「ゆるぎやらの誕生」を受けて実現したものです。



イイタネちゃん



「美味しいもの体験館」を提案！

安齋 佑紀さん（飯樋小6年）
村でワラビやアケビを採って、自分で調理したり、どぶろくを作ったりしながら多くの人が交流できる施設を提案します。



「マラソン、自転車合同競技大会」を提案！

三本松 博文さん（飯樋小6年）
飯樋地区のマラソンコースを活用し、マラソンと自転車の合わせた競技を開催し、村の知名度を上げることを提案します。



「音楽フェスティバル」を提案！

岡部 真翔さん（飯樋小6年）
あいの沢で「音楽」を中心とした、村の農産物や風土を体験できる音楽フェスティバルの開催を提案します。



「未来型専門学校の設立」を提案！

細杉 新太さん（白石小6年）
無人飛行機ドローンの専門学校を設立し、イベントなどでドローン技術大国としてPRすることを提案します。



主人公は福島市に住む飯館校生。彼らが飯館校の存続を支えて来たことにも改めて気づかされる劇です



東京公演の開場に並ぶ観客。4公演の前売り券は発売から9日間で完売しました

飯館校の未来を探る

相馬農業高校飯館校は、村の要望を受けて、平成20年に、分校から「飯館校」になりました。その大切な学校が、原発事故後はサテライト校に。避難が長引く中で村出身の生徒は減少。全体の入学者数も減少し、県が規定により平成30年度の募集を停止しました。

飯館校を再び村によみがえらせることができるか。募集停止を受けて、関係機関で、新たな模索が始まっています。

今後の可能性を議論
村で唯一の高校として、飯館校の募集再開を希望する村は、県教育委員会など関係機関と、「相馬農業高校飯館校の在り方に関する検討協議会」を立ち上げ、存続の新たな形を話し合っています。また、村立校化も可能性の一つとして検討しており、特色ある魅力的な学校づくりについて、「相馬飯館校の再生を考える会」で、議論を深めています。



「相馬飯館校の再生を考える会」は食や園芸の専門家も交えて魅力ある教育内容を議論します

「演劇が自分を変えた」

サテライト校の光を高くかざして

飯館校を舞台にした劇は、東京でも観客に届いていました。サテライト校の特殊な環境を浮かび上がらせながら、登場人物の抱える背景や心の内が静かに明かされる場面では、客席に涙が広がりました。それぞれの役の存在感も、しっかりと心をとらえていました。「演劇の力を感じた」「心に響いた。泣いてしまった」。終演後も感動の熱気が冷める気配はありませんでした。

「演劇をやったよかった」と部員達の表情が輝きました。「伝わる劇ができた」。地道なトレーニングにも取り組み、ぎりぎりの人数で支え合い活動してきた5人です。「演劇からすごく多くのものをもらった。人前に出ることが苦手で、しゃべるのも怖かった僕が、勇気を持ってコミュニケーションできるようになった。自己否定的だった僕は救われたのだと思います。一生懸命やれば成長できるんだって実感しています（後藤さん）」。サテライト校での輝かしい成長。いつか仮設校舎がなくなっても、消えることのない確かな光です。



終演の拍手に応え深々と一礼する部員。「心から感動した」客席には賞賛の声があふれていました

相馬農業高校飯館校演劇部

東京公演

平成30年2月11日・12日



ペンネーム
矢野青史

顧問・脚本
西田直人

サトル役
後藤遼翔
りゅうと

イクミ先生役
高橋夏海

ハルカ役
菅野千那

音響
半澤 楓

ユキ役
菅野優歩

副顧問・照明
佐藤佳代子

アトリエ春風舎（東京都板橋区）

ラストステージは東京公演

平成23年度 県教育センターでサテライト校を開校
平成24年度 福島明成高校敷地内仮設校舎へ移転
平成25年度 サテライト校で単独の文化祭を開催
平成26年度 演劇愛好団結成。12月、演劇部発足
旗揚げ公演（福島市・こむこむ）
平成27年度 大会初参加
地区大会・県大会を突破し東北大会出場
平成28年度 12月、東北大会で最優秀賞を受賞
招待公演などが続く
平成29年度 8月、全国大会で優良賞・舞台美術賞受賞
2月、東京公演。3月、演劇部解散



「サテライト仮想劇ー いつか、その日に、」（東京公演）

相馬農業高校飯館校サテライト校。原発事故により避難した県立高校8校のうち、現在も生徒の通う唯一のサテライト校です。避難から7年。来年度は、飯館校でも生徒募集が停止されました。
演劇部は、その仮設校舎で、平成26年に誕生しました。前任校でも演劇部を率いた西田直人先生の指導のもと、部員たちは演劇に向き合い、急速に力をつけて大会でも活躍。地区・県大会を勝ち抜き、東北ブロック代表として、昨夏の全国大会に出場するまでに成長しました。
2月、都内の劇場に招かれての東京公演。「この劇の思いを観客に届ける」と2日間で4回の上演に臨んだ部員達は、全力の舞台で観客の心をとらえ、輝きました。
そして3月1日、全員が3年生だった部員達の卒業をもって、飯館校演劇部は解散したのです。

復興を歩む vol.35

農業者等の意見交換会

1月26日、つきだて花工房で、農業委員会主催の平成29年度「農業者等の意見交換会」が開かれました。

農業委員会、村、JAの報告に続き、参加者が自由に意見を交換しました。村で再開した営農への意欲が大いに語られ、また、農業基盤整備の進め方・放射性物質対策の現状・獣医の確保の見込みなどについて質疑応答もありました。農業者の皆さんは、営農を軌道に乗せようと、熱意を持って課題解決に取り組んでいます。

昨年サヤインゲンの出荷を最初に再開した末永瑞夫さん（深谷）は、「わざわざ私のインゲンを買いに来てくれた人もいた。PRが大事だと思う。1人ではまかないきれないので、多くの生産者を確保してほしい」と発言。JAの川井智洋飯館営農センター長（二枚橋・須萱）も「保冷库の整備なども考えてい。以前のように皆でインゲンを作っていききたい」と応じました。

イチゴを生産する菅野幸藏さん（前

田・八和木）も、大消費地に加工用の販路が広がっていることを紹介。「やりたい人がいれば、研修をしたり苗を供給したりしたい。花も好評だが、イチゴもあると言いたい」と前向きです。カスミソウの栽培については村が報告し、新たに始めたいという若い人が出てきて、先行事例がきっかけづくりになっていることを紹介しました。「新規参入する人とのつながりも大切にしよう」と声があがりました。

飯館牛の復活を目指す佐藤二郎さん（大倉）は、避難先で知り合った和牛繁殖の仲間、天野浩樹さん（相馬市）を参加者に紹介。天野さんは、「震災前、セリでずらりと並ぶ飯館の牛に圧倒されたものです。飯館から全国に出ていく牛を、皆さんと一緒にやっていきたい」と決意を語り、拍手に包まれました。天野さんは、妻と子どもの4人家族で、村に移住し畜産に取り組む準備を進めているそうです。

農業委員会の菅野宗夫会長（佐須）は、「天野さんのお話に元気をもらい、感激した。外から来てくださる方とも、情報を伝え合い、気持ちをつかち合ってやっていきたい」と述べ、委員会の活動を強化しながら、関係機関も含めて協働していこうと呼びかけました。

意見交換会には、農業者と農業委員会の他、村長はじめ村の関係者、JA、村議会議員、関連事業者などが出席しました。困難な状況を乗り越えようという意欲を燃やす参加者の熱意と、農業者としてのプライドが、強く感じられる意見交換会となりました。佐藤一郎さん（写真中央）の右隣りが、本文の後半で紹介した天野さんです。



ラオス

東京オリンピック ホストタウン誘致大作戦！



▲ドンニャイ村の学校に通う多くの子どもたち。「学校を作ってくれて、ありがとう」と村への感謝が伝えられました



▲ラオスの主食は蒸したもち米



▲民族楽器の音色と伝統の踊りで歓迎されました



▲年間300万人が訪れる観光国



ラオスは経済的には決して裕福ではありませんが、自然を大切に、伝統を重んじる国。どこか、村と似た空気を感じます。

村では、これまでのつながりを大切にしていきます。飯舘村で心つながる交流が出来ることを願って。



オリンピック選手を村へ
村では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、学校建設を支援してきたラオス国に対し、村内での事前合宿誘致の働きかけを行っています。

昨年11月、国の被災3県を対象にした新制度「復興『ありがとう』ホストタウン」に、震災前から交流のある村が、ラオスの交流先として選ばれました。村ではこの制度を活用し、2月4日から9日まで、村職員、いたてスポーツクラブ役員がラオスを訪問し、村が建設した学校のあるドンニャイ村やラオススポーツ省を訪ね誘致活動を行ってきました。

ドンニャイ村では、学校に通うことができない子どもがほとんどでしたが、村が学校を建設したことで進学率が8割を越えるようになっていきます。現在も、満足とはいえない学校設備ですが、多くの子どもたちが笑顔で、安心した学校生活を送ることができています。

村は今後も、こうした交流を行いながらオリンピックへ向けたラオス選手団合宿誘致の可能性を探っていきます。

そもそも、ラオスってどんな国なの??

インドシナ半島中央部に位置するラオスは、ベトナム・カンボジア・タイ・ミャンマー・中国の5か国と接し、多様な民族が、自然の恩恵を受けて生活しています。



ラオス人民民主共和国

- 面積 … 24万平方キロメートル(日本総面積 約38万平方キロメートル)
 - 人口 … 約649万人(ラオス統計局) (日本総人口 1億2558万人)
 - 首都 … ビエンチャン
 - 言語 … ラオス語
 - 宗教 … 仏教
- ※「ラオス基礎データ」外務省ホームページより





● 特別職の報酬などの状況（平成28年4月1日時点）

給料 (月額)	村 長	644,000 円 (805,000 円)
	副村長	585,000 円 (650,000 円)
	教育長	558,000 円 (620,000 円)
報酬 (月額)	議 長	252,900 円 (281,000 円)
	副議長	216,900 円 (241,000 円)
	議 員	202,500 円 (225,000 円)
期末手当	村 長	(平成 27 年度支給割合) 6 月期 1.40 月分 12 月期 1.50 月分 計 2.90 月分
	副村長	
	教育長	
	議 長	
	副議長	
	議 員	

※給料及び報酬の（ ）内は、減額措置を行う前の金額です。

● 部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日時点）

部 門 \ 区 分			職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由
			平成 27 年	平成 28 年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	0	
		総 務	19	20	1	本庁、支所 2 か所体制による窓口増
		税 務	5	5	0	
		民 生	4	6	2	機構改革（飯野支所新設）による職員配置増
		衛 生	8	9	1	訪問業務等増
		労 働	0	0	0	
		農 林 水 産	6	5	△ 1	農政係臨時職員配置による減
		商 工	4	2	△ 2	機構改革による商工観光業務見直しによる減
		土 木	4	4	0	
		計	52	53	1	
	教 育 部 門		10	9	△ 1	社会教育事業の縮小による減
	小 計		62	62	0	
会 公 営 企 業 等 計 部 門	そ の 他	7	8	1		
	小 計	7	8	1		
合 計			69	70	1	<参考> 人口 1 万人当たりの職員数108.14人

※職員数は、一般職（嘱託職員及び臨時職員を除く）に属する定員管理上の職員数です。
※定員管理上、下水道及びその他（国保、介護等）は、公営企業等会計部門に含んでいます。

村職員の給与をお知らせします。

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、地方公務員法や村の条例に基づき、職員の任用、職員数、給与その他の人事に関する運営状況についてお知らせします。
村職員の給与について詳しくは、村ホームページをご覧ください。
問 総務課総務係(本庁 ☎0244-42-1611)

● 人件費の状況（平成27年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (平成 28 年 1 月 1 日)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
6,250 人	8,369,019,000 円	663,371,000 円	7.9 %

● 職員給与費の状況（平成27年度普通会計予算）

職員数 (A) (平成 28 年 4 月 1 日)	給 与 費			
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)
62 人	223,115,000 円	70,032,000 円	84,815,000 円	377,962,000 円

(参考) 一人当たりの給与費 (B/A) 6,096,000 円
※職員手当には退職手当を含みません。
※給与費については、再任用職員（短時間勤務）の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含みません。

● 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況
(平成28年4月1日時点)

一般行政職	(参考) 福島県一般行政職
職員平均年齢 … 39.5 歳	職員平均年齢 … 42.7 歳
平均給料月額 … 324,091 円	平均給料月額 … 331,000 円
平均給与月額 … 390,991 円	平均給与月額 … 416,157 円
※給与とは、職員に支給される給料と手当などの合計額です。	

● 職員の初任給の状況（平成28年4月1日時点）

区分		飯舘村	福島県
一般行政職	大学卒	181,700 円	188,400 円
	高校卒	148,700 円	153,200 円



待望の八木沢トンネル 3月18日開通が決定



石ポロ坂トンネルを原町方面に抜けると間もなく入り口が見えてきます。道路舗装も真新しく

村と南相馬市原町区を結ぶ県道原町川俣線の八木沢トンネル(延長2345m)は、平成25年に着工した工事が順調に進み、今月、3月18日に開通することが決定しました。これは2月7日に県が発表したもので、当初の予定より約4か月の前倒しです。カーブや急勾配が続く八木沢峠は、特に冬季は交通の難所となっていて、近隣住民にとっては待望の開通です。村側の入り口には、飯館中学校の生徒が揮毫した銘板も、取り付けられています。



入賞した写真
(平成29年6月号掲載)

県の広報コンクールで 賞をいただきました

県の広報コンクールで、広報紙と掲載写真が、共に佳作に選ばれました。

広報紙は「町村の部」24点の応募から5点、写真は「1枚写真の部」36点の応募から5点が入賞作品となっています。

表彰式は、2月16日に、県庁で行われました。取材を受けてくださる皆さんのおかげで発行できる広報紙。これは村民の皆さんと一緒にいただいた賞です。これからも皆さんの元気を発信していきますので、ご協力をどうぞよろしくお願いします。



入賞した広報紙
(平成29年9月号)

手から手へ「裁縫教室」で 愛らしい人形づくりに挑戦

瀧本和子さん(前田・八和木)を講師に迎え、交流センター「ふれ愛館」で、「裁縫教室」が開かれました。題材は、ウサギや、お地蔵さまをモチーフにした、高さおよそ12cmの布製人形です。1月17日の第1回、同27日の第2回、合わせて20人余りが参加しました。瀧本さんはさまざまな手芸作品を手掛けていて、オリジナルのデザインにも定評があります。初心者にも作りやすい裁断済みのキットも好評で、参加者は「もっと作ってみたい」「作ると愛着がわきますね」と話していました。



心をこめた作品作り。きれいに仕上げるコツを講師の瀧本さん(右端)がいてねいに伝授しました

田中俊一さん(上飯樋)に 村復興アドバイザーを委嘱

村は、1月29日、原子力規制委員会前委員長の田中俊一さんに、飯館村復興アドバイザーを委嘱しました。田中さんは、福島市生まれの工学博士。震災後は、村の除染アドバイザーとしても協力をいただきました。昨年9月に原子力規制委員長を退任し、「福島の復興の一助になりたい」と、村内に居を構えました。月の半分ずつを、茨城県内の自宅と、村の居宅とで、生活していく予定です。田中さんは、「村の要望、村民一人ひとりの要望に、できるだけのことをしたい」と話していました。



委嘱状は菅野村長(右)から田中さんに手渡されました。任期は平成32年3月31日までです

ふるさと納税返礼品 村産第1号は「里山のつぶ」

全国から協力をいただいていた、ふるさと納税の返礼品に、村産品が初登場しました。平成29年に生産されたお米「里山のつぶ」5kgで、アニメ「アイドルタイムプリパラ」のキャラクター・夢川ゆいのパッケージを使った限定品です。夢川ゆいは、JA全農のお米応援大使。「いいいて村の道の駅までい館」で撮影会を開いたり、「新春村民のつどい」に参加したり、村の復興も応援しています。2月下旬から、オリジナルポストカードなどを付けて、お米の発送が始まりました。



© T-ARTS / syn Sophia / テレビ東京 / IPP製作委員会
村産返礼品の第1号はお米。JA全農のお米応援大使・夢川ゆいをパッケージにした限定品です

相馬福島道路 霊山飯館ICが3月開通

2月2日、国土交通省福島河川国道事務所が、「3月10日に相馬福島道路の相馬玉野IC～霊山IC間を開通する」と発表しました。相馬市と福島市を結ぶ相馬福島道路は、相馬山上IC～相馬玉野IC間が開通済みで、今回開通するのは、これと接続する区間です。新たに開通する区間には、「霊山飯館IC」があり、開通に合わせて利用が開始されます。菅野村長は、「インターチェンジの名称に飯館の文字が入り、復興にはずみがつく」とし、関係各所に感謝を表しました。



霊山飯館ICは福島方面に向かう車線の出入口。相馬方面に向かう車線に乗る場合は隣接のICから



「応援を糧にがんばります」と木幡会長（中央）

福島明成高校の生徒4人が、バレンタインデーに合わせて、村民が暮らす福島市内の5つの仮設住宅を訪問し、特製のバウムクーヘンを贈りました。同校は、授業の一環で、洋菓子店「バウムラボ樹樂里」と商品開発を行っていて、その収益などを活用したこのプレゼントは5年連続。松川第一応急仮設住宅では、集会所で木幡一郎自治会長（伊丹沢）らが感謝を伝えました。



住民は生徒と交流しバウムクーヘンを味わいました

松川第一
応急仮設住宅

2
13

1
28

飯舘村消防団



貴重品の持ち出し訓練。いざという時に備えます



雪の境内でポンプ車を使った放水訓練も行いました



火・木曜日の朝は全校ランニング！先生も走ります

飯舘中学校

2
17

あぶくま
ロマンチック街道
構想推進協議会

あぶくま協議会ホームページ
<http://abukuma-r.jp/>



凍み豆腐料理やおやきなど郷土食は調理も一緒に



厳寒の夜に皆で仕込んだ凍みものは完成後にお届け



国道399号線をつながる5市町村が作る「あぶくまロマンチック街道構想協議会」が、冬の「あぶくまツアー」を宿泊体験館「きこり」で開催しました。1泊2日のツアーは、凍みものづくりや、あいの沢の遊歩道散策、天文講座や木工体験など、冬ならではの楽しみが盛り沢山。世代もさまざまな県内外の参加者が交流を深め、地域の食や自然の魅力を体感しました。

あぶくま協議会では一緒に参加できるメンバーを募集中！ 復興対策課商工労政係0244-42-1620

ミュージカル
仕立ての作品
で歌も歌いま
した！



「日本こども映画コンクール」特別賞のCチーム

「ふるさと学習」メディア班が制作した2本の短編映画が、第2回「日本こども映画コンクール」で入賞。そのうちCチームの作品「飯舘村 笑顔の扉あけて！」は特別賞も受賞しました。さらには体力テストの結果が年々向上し県平均を超えたことから、学校が「ふくしまっ子元気大賞」を受賞。体力向上への日々の取り組みの成果です。文武両道ですね。すごい飯舘中！

入札結果をお知らせします

入札日／10月18日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用機械導入事業(飯舘村比曽地内 トラクター 1台及び農業用機械一式)	2,484,000円	(株)渡辺機械	平成30年 3月下旬
大谷地団地土地求積及び道路法24条申請業務	1,620,000円	(株)船橋コンサルタント	平成29年 12月下旬
大谷地団地3期通路等整備工事	45,900,000円	(株)英工務店	平成30年 6月下旬
福島再生加速化交付金事業 宅内公共マス修繕工事実施設計業務(草野地区・飯樋地区)	1,058,400円	福島県土地改良事業団体連合会	平成30年 3月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水処理施設更新工事実施設計業務(飯樋地区)	1,209,600円	福島県土地改良事業団体連合会	平成30年 3月下旬
農業基盤整備促進事業 飯舘2地区 測量設計業務	7,020,000円	(有)御堂測量設計事務所	平成30年 3月下旬
学校施設整備備品(木彫「道標」他5体)	7,430,400円	(有)アカデミヤ	平成30年 3月下旬
学校施設整備備品(ブロンズ像「夢の音」他1点)	9,784,800円	(有)アカデミヤ	平成30年 3月下旬
飯樋小学校ポンプ棟改築工事	10,368,000円	関場建設(株)	平成30年 3月上旬

入札日/11月16日(単位：円)

消防団第二分団第三部車庫建設工事	4,212,000円	(株)英工務店	平成30年 3月下旬
大火山ツツジの森案内看板設置工事	1,328,400円	旭産業(株)	平成30年 1月下旬
飯舘村までいな産品創出事業業務	2,411,640円	(株)までいガーデンビレッジいいたて	平成30年 3月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事(19区蕎麦乾燥調製施設)	37,800,000円	大内わら工品(株)	平成30年 3月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用機械導入事業(前田地内 普通型コンバイン1 台及び蕎麦乾燥調製設備等一式)	46,310,400円	(株)渡辺機械	平成30年 3月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 松塚地内牛舎等整備工事現地測量業務	2,052,000円	(有)大内測量設計事務所	平成30年 2月下旬
第9号 帰還再生生活道路整備工事(小宮字山辺沢地内)	22,896,000円	(株)英工務店	平成30年 3月下旬
第10号 帰還再生生活道路整備工事(小宮字萱刈庭地内)	12,744,000円	(有)渡建工業	平成30年 3月下旬
第11号 帰還再生生活道路整備工事(小宮字夏井地内外)	20,412,000円	(株)東栄	平成30年 3月下旬
第12号 帰還再生生活道路整備工事(小宮字沼平地内外)	11,772,000円	(有)福相建設	平成30年 3月下旬
第13号 帰還再生生活道路整備工事(小宮字野手神地内外)	14,796,000円	濱田建設工業(株)	平成30年 3月下旬
第19号 井戸掘削(ボーリング工事)(飲料水安全確 保支援事業)(比曽字上比曽地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成30年 3月下旬
第20号 井戸掘削(ボーリング工事)(飲料水安全確 保支援事業)(蔵平字菅沼地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成30年 3月下旬
第21号 井戸掘削(ボーリング工事)(飲料水安全確 保支援事業)(比曽字中比曽地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成30年 3月下旬
草野地区集会所建設工事	91,260,000円	(株)英工務店	平成30年 6月下旬
草野地区集会所建設工事監理業務	3,564,000円	松本建築設計事務所	平成30年 6月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水草野地区処理施設水処理機器更新工事	82,620,000円	荏原実業(株)東北営業所	平成31年 3月上旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水草野地区処理施設水処理機器更新工 事監理業務	1,814,400円	福島県土地改良事業団体連 合会	平成31年 3月上旬
飯舘村教員住宅改修工事	16,200,000円	(株)英工務店	平成30年 3月中旬

入札日/12月7日(単位：円)

第14号 帰還再生生活道路整備工事(二枚橋字本町地内外)	4,158,000円	(有)福相建設	平成30年 3月下旬
第15号 帰還再生生活道路整備工事(飯樋字町地内外)	2,484,000円	(株)東栄	平成30年 3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(児童生徒用机椅子一式)	6,408,126円	(株)サトウ教材社	平成30年 3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(職員室用机椅子一式)	4,622,400円	(株)大一事務機	平成30年 3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(認定こども園職員室 用備品一式)	3,335,040円	北日本紙業(株)	平成30年 3月下旬
スポーツ公園野球場照明設備改修設計業務	1,836,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年 1月中旬



お知らせ



村年賀状メッセージ、心に届く

村では、昨年、全国の皆さんへの感謝と復興の決意を込めた村オリジナルデザイン年賀状を販売しました。村の年賀状を送った方・受け取った方から、素敵な感想が寄せられましたのでその一部をご紹介します。

皆さんに良いことが、ひとつでも多く訪れますように。

❀ 飯舘村オリジナル年賀状を知り、大切な人に送ろうと決めて購入しました。年賀状は嬉しいものです。更にデザインとメッセージにまで和むなんて、こんな素敵なハガキは今までに出会ったことがありません。飯舘村が素敵な1年になりますように…。 **福島市 女性**

❀ 高校時代の同級生から届いた年賀状は「飯舘村」の年賀状。東北を思い出させてくれました。ごめんなさい。私の中で東北の姿が薄れていました。阪神・淡路大震災は、くっきり覚えているのに。私なりに淡路島の発展と東北復興に向け、子どもたちの教育に尽力します。 **兵庫県 女性**

❀ イイタネちゃんから年賀状の返事が届いて、娘はとても嬉しそうでした。震災の年に生まれた子が小学生になるとは。あの時から8年目を迎えるんですね、早いものです。これからも、飯舘村の美しさがずっと続きますように。 **福島市 女性**

2月の村の動きと主なできごと

【1月追記】

29日・飯舘村復興アドバイザー委嘱状交付式(飯舘村役場)

【2月】

1日・みらい議会(村役場本庁議場)

3日・就園・就学に関する保護者説明会(飯舘中学校)

4・9日・「ありがとうホストタウン」ラオス訪問(ラオス・ヴィエンチャン他)

5日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)

10日・「新・農業人フェア」出展(東京都豊島区・池袋サンシャインシティ)

13日・第3回相馬農業高校飯舘校の在り方に関する検討協議会(県庁)

15日・第2回スポーツ公園利活用準備委員会(交流センター「ふれ愛館」)

16日・県広報コンクール 表彰式(県庁)

● 村議会 東電本社・国各省庁要望活動(東京都内)

17日・飯舘中学校 日本こども映画コンクール表彰式

(東京都千代田区・日本BS放送)

● 南向台飯舘自治会お別れ会(土湯温泉)

19日・川俣地区飯舘自治会きつきの会 高崎市役所訪問(群馬県高崎市)

21日・学校運営協議会(飯舘中学校)

22日・定例教育委員会(村役場本庁)

23日・第2回農業委員会定例総会(村役場本庁議場)

● 参議院東日本大震災復興特別委員会委員視察(松川第一応急仮設住宅)

24日・宮内行政区農政関連事業説明会(宮内集会所)

● 交流センター自主文化事業 白崎映美&東北6県ろーるショー

(交流センター「ふれ愛館」)

● 松川第一仮設住宅飯舘自治会お別れ会(岳温泉)

池田 サツキさん (大久保・外内)



震災前は専業農家。避難中は福島市内の公的宿舎に暮らしました。昨年から村内で季節の野菜を作り「生きがい農業」に精を出しています。

昨春から、村内で、「生きがい農業」に励んでいます。パセリ、ニラ、イチゴ、ネギ、ジャガイモ、キヤベツ、ブロッコリー、(中略)春菊、ゴーヤ、ナス、サツマイモ…(※まだまだ30種類以上ありました)、季節に合わせて、種をまいたり苗を買ったりして作りました。作った野菜は全て「いちばん館」で線量測定をしています。人にあげるものは、県のモニタリング検査にも出しています。最初は心配でしたよ。測って食べられなかったらどうし

ようと、悩み悩みでした。けれど一度もそうしたことにはなりません。

避難した松川雇用促進住宅では、敷地の一角を耕し、何人かで畑を作りました。土の中に埋まっていたものを掘り起こして、きれいな畑にしたのです。ところがそこで畑はやれないと言われ、皆がっかり。その後は近くに畑を借り、昨年の3月まで使わせてもらいました。おかげで避難後に増えた体重も元に戻りました。家のリフォームがまだ続い

ています。昨年の暮れに、母屋に住めるようになるまでは、物置に仮住まいしていました。寒くてお湯も使えずに、よく風邪もひかずにいたものです。野菜を作って食べているおかげで健康なのでしょう。食べるものは大事です。いたってホームに母がいますから、私もまだまだ元気でないとは思っています。

動かさないと体はだめになりますね。冬場は豆の選別をしたり、凍み大根を作ったり。体操もして、寒くても体を動かします。春になったらまた農業ができるように。

子どもの頃、両親が作っていた品数は、それほど多くなかったのですが、自分でやり方を考えながら農業を続けてきました。震災前は、今よりいろいろ作っていて、野菜は何も買わずにいられました。今はまだ1人で戻って来ますし、採って洗って測って選別して袋詰めして…というのは忙しいですから、まずはこの「生きがい農業」で頑張ろうと思っています。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ! 堀先生

相談

人間関係で、思い悩んでしまうことが多いのですが。

堀先生

人間関係で悩む人は少なくありません。最近、身近だと思っている人が自分から距離を取っているように感じることはありませんか。そんな時に、相手のことを「何てひどい奴だ」などと考えないようにしましょう。気持ちは分かりますが、そういう態度を表に出すと、状況を悪くすることが多いのです。自分の心の中に、「相手のことを頼りにしているけど、悔しいからそれを認めたくない」なんて気持ちはないでしょうか。恥ずかしいかもしれませんが、そういう部分への感謝や労いの気持ちを、声にして伝えてみましょう、きっと何かが変わってきます。



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」 お問い合わせは 健康福祉課健康係(いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

思いめぐらす日

こころの
ぽけっと

原発事故による避難対応も、もはや8年目に入ろうとしています。この間、現状を記録しておかねばということで、村内外の方々によって、20冊近くの本や写真集が出版されているようです。その最たるものが、長泥行政区が出版し民報出版文化賞正賞を受賞した「もどれない故郷ながどろ」でありましょう。一方で、復興を願って村の中で新しい歌が何曲か生まれたということもあります。小学生たちが、あちこちで歌ってくれている「まどいの Rond 時よめぐれ」があります。中学生たちには「ふるさと」の曲に4番の歌詞をつけて歌ってもらっています。「がんばっぺ まどいの村」や「飯館復興の桜」なども震災から立ち直りたいということでも生まれた曲でしょう。までい大使の黛まどかさんには、村の本来もつ四季のすばらしさを俳句であらわしてもらっています。災害に遭って失ったり、気づかされたことも多い訳ですが、このように災害によって生まれたものもあるということです。失った最たるものは、毎日の普通の暮らしです。気づかされたことは、その平凡な毎日の生活がいかにありがたいものであったかでありましょう。震災8年目に入るに至って、ここでもう一度失ったもの、生まれたもの、考えなければならぬことなどを、みんなでじっくり「考えてみる日」があってもいいのではないかと思うようになってきました。間もなく、3月11日がやってきます。「思い」をめぐらす日にしてはどうでしょうか。

平成30年2月13日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
手渡 雫月ちゃん	省吾・千春	前田・八和木
高野 遥人くん	弘之・裕美	大久保・外内
高橋 公陽くん	公仁・有希子	比曽

すくすくと元気に育ってね



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 重義	85	二枚橋・須萱
菅野 ミヨ子	90	佐須
佐藤 ハル子	94	草野
池田 昭	74	蕨平
高橋 義正	78	比曽
長谷川 三代治	88	八木沢・芦原
北里 好邦	78	草野
小野 ツルヨ	95	蕨平

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成30年1月31日現在)

人口	今月(前月比)
男	2925人 (-7)
女	2939人 (-9)
計	5864人 (-16)
世帯数	1806戸 (+1)

1月1日~31日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	2人
転出	15人
出生	4人
死亡	7人
(住民基本台帳人口)	

HOPES

ホープス セカンド

2nd

かけがえのない仲間と共に

伊東 琴美さん（関沢）

「本当は本校舎に戻りたい気持ちもありました」。伊東さん達3年生は仮設校舎の最後の卒業生。村内再開の時期が検討されていた2年前には、菅野村長を学校に招き、仮設校舎で仲間と一緒に卒業できるようお願いしたこともある学年です。「本校舎に通えない人がいたら、全員で卒業できなくなってしまうと...」。伊東さんは当時の複雑な思いを



生徒会長を務めた飯館中学校を、この3月で卒業します。「ふるさと学習」のメディア班の一員として制作した動画が、2月に「日本こども映画コンクール」で全国表彰されたばかり。※関連記事 P19



村のいい所や村民の元気を伝えようとメディア班が制作した動画の一場面。右が伊東さん。左は高橋ひな子さん。動画はミュージカル仕立てになっていて、2人はオリジナルの歌も歌っています。

振り返ります。それほど大切な仲間だということでしょう。「少人数だからこそ、きずなが強いと思います。お互いの性格もよく分かっているし」。川俣中学校で間借りの小学校生活も経験。突然の環境の変化に大きな不安を抱えた時期も一緒に乗り越えてきた仲間です。学校の村内再開は、準備期間の関係で、伊東さん達の卒業後となりました。

中学校では生徒会長も務めました。「それまでにない大役で、自分を成長させることができました。震災前の生徒数だったら、私が生徒会に関わることはなかったかも。震災をきっかけに成長できたこともあるなど感じています」。

後輩たちには「本校舎の環境で、今までできなかったことも、全力で楽しんでほしい」とエールを送ります。「これまでのごこと、そして素晴らしい環境で学べることに、感謝の気持ちも持ち続けてほしいです」。

〈編集後記〉

● たくさんの方々の努力と縁があり、ラオス・ドンニヤイ村と村は互いに手を結んできました。復興ありがとうホストタウンの認定、今回のラオス訪問でそのつながりがより大きなものになることでしょう。村が学校建設に手を差し伸べると、震災に遭った時には、ラオスが優しくあたたかい手を差し出してくれました。そもそも、国も、文化も異なるラオス・ドンニヤイ村と日本・飯館村。ひとを想う気持ちは国境を越えるはず。ばらばらの点と点がつながり、一本の線となり、いずれば円となります。東京五輪に向けて、優しさあふれる丸い円をつくりあげていきましょう。（木幡）

● 相農飯館校演劇部の最終公演で部長の菅野千那さんが印象的なことを話しました。「これを演じることはもうできないけれど、観てくださった皆さんが想像をやめない限り、この芝居は続いている」と。本当ですね。劇から受け取ったものを私も大事に持ち続けるつもりです。「学校」もこれに似ています。大切な日々が過ぎ去っても、一つひとつの学びや経験が、その人に寄り添いずっと支えてくれるから...。仮設の学校、幼稚園、保育所のことも、私は絶対に忘れません。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。